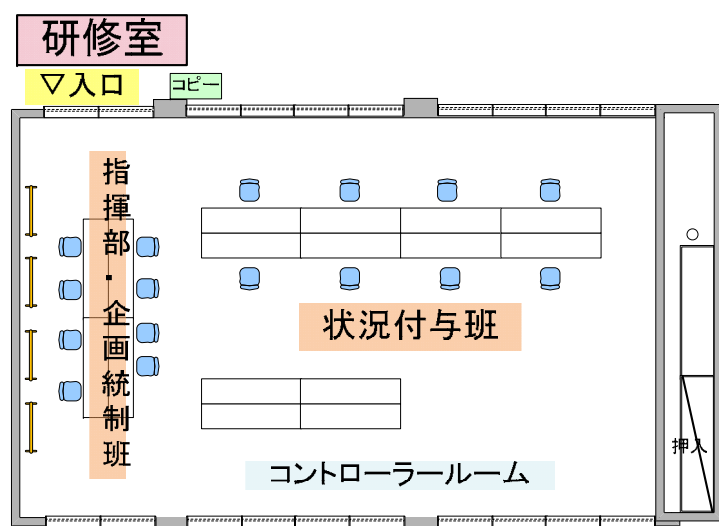
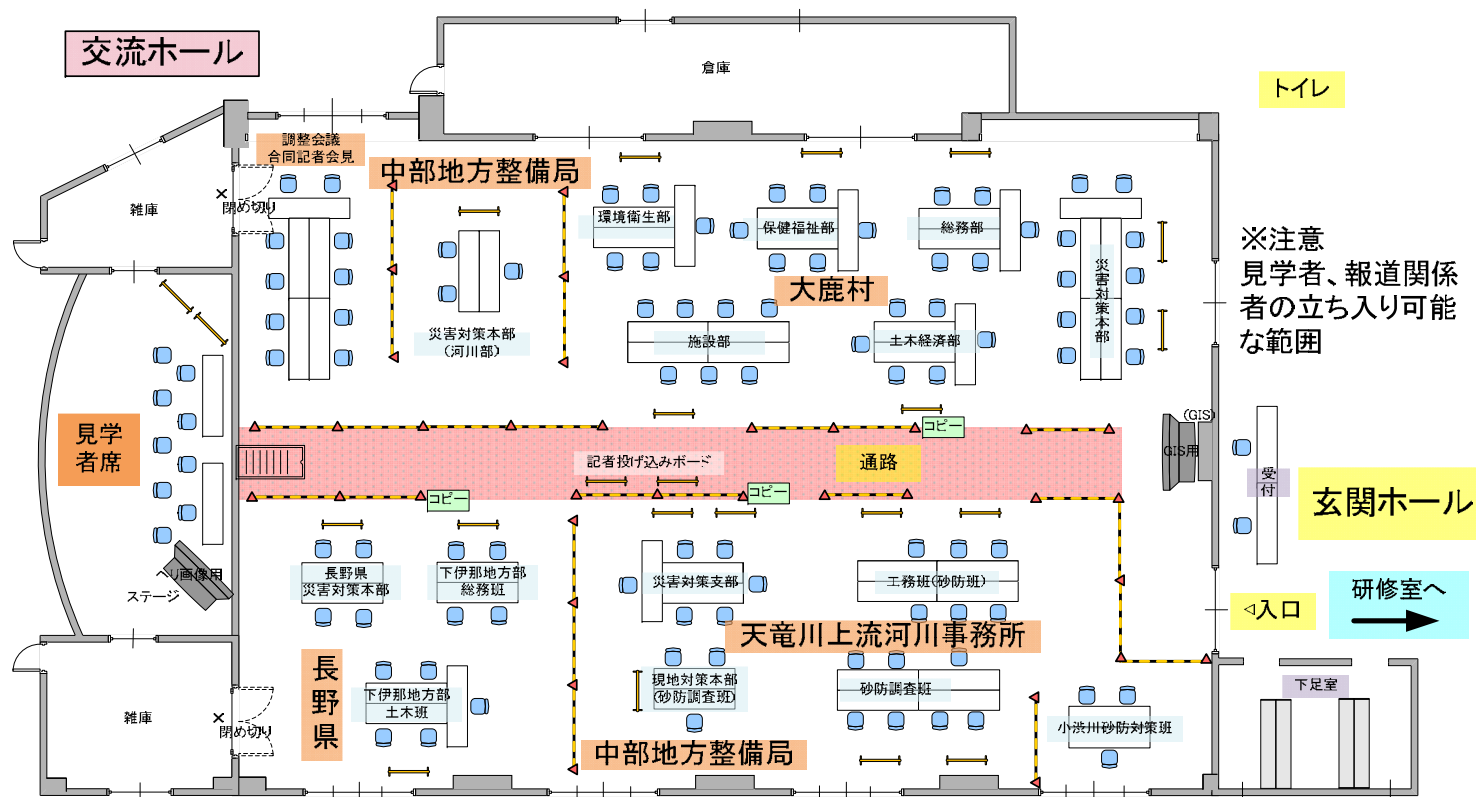
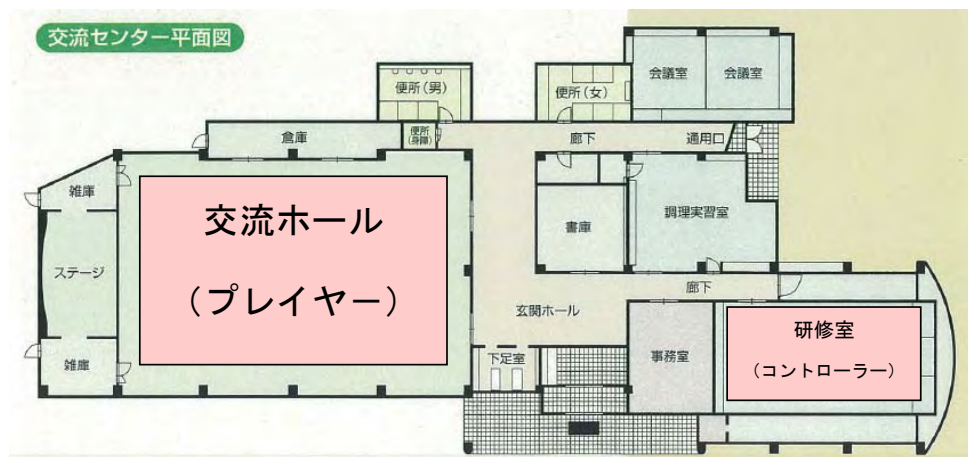


■訓練会場のレイアウト:



平成23年度 天竜川(小渋川) 合同防災訓練

土砂災害対応(大鹿会場)

■訓練の目的:

局所的大雨等による大規模土砂災害(天然ダムの形成、同時多発的に発生する土石流、がけ崩れ)に対して、国土交通省及び長野県、大鹿村等の各防災担当者が防災、減災対応(地域連携マニュアルの運用、天竜川防災 GISの活用など)を訓練し、緊急時の災害対応能力等の向上に資することを目的としています。

また、本訓練は、平成23年5月1日に施行された「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策に関する法律の一部を改正する法律」に定められた「緊急調査」及び「土砂災害緊急情報」に関する事項も含んで実施します(別紙:「土砂災害防止法の一部改正について」参照)。

- ◆前提条件
 - 降雨:総雨量300mm以上(最大時間雨量108mm/h)を想定した集中豪雨。
 - 災害:大鹿村内で土石流が3箇所、がけ崩れが3箇所発生し、国道152が寸断、主要地方道である松川大鹿線でも道路の法面が崩壊し大鹿村が孤立。小渋川では大規模崩壊により天然ダムが形成。
 - 体制:大鹿村、長野県は災害対策本部を設置。国土交通省(中部地方整備局)でも災害対策本部を設置済み。
- ◆実施方針
 - ① 今までに経験したことのない大規模土砂災害(天然ダム等)に伴い発生する災害の危険性を認識し、重要な情報伝達や共有すべき対応を確認します。
 - ② 土砂災害防止法の改正に伴い、国、県、市町村の役割分担を把握し、連携を強化させ、対応技術の向上を目指します。大鹿村は地域連携マニュアルに基づく諸対応を、特に、住民避難対応について確認します。
 - ③ 天竜川防災 GIS を活用した情報連携を図ります。

表 ロールプレイング方式による主要訓練項目

No	大規模土砂災害対応に関する主要訓練項目	対象機関
1	【情報収集・伝達、関係機関との情報共有】 ○地域連携マニュアルに基づく土砂災害情報の伝達・共有の対応(防災 GIS、電話およびファックス)	・国交省 ・長野県 ・大鹿村
2	【災害発生箇所に対する迅速な緊急危険度評価、応急対策】 ○迅速な緊急調査対応(天然ダム) ○天然ダム、土石流、がけ崩れなどの応急対策、監視観測対応の検討	
3	【災害対策本部、支部の適切な運営】 ○連絡調整会議の開催(国、県、村の役割分担など) ○災害関連情報の内部周知	
4	【住民避難対応】 ○警戒避難計画の検討 ○避難準備情報→避難勧告→避難所への誘導	・大鹿村
5	【災害時要援護者、行方不明者への対応】 ○孤立住民(被災者、災害時要援護者)の救出への対応 ○行方不明者発生を仮定して関係機関間の捜索行動連携への対応	・長野県 ・大鹿村
6	【国交省による資機材支援、技術支援等】 ○地域連携マニュアルに基づく災害対策資機材などの支援への対応	・国交省
7	【報道機関に対する対応】 ○仮想の合同記者会見の対応 ○マスコミ(仮想)からの質問対応、適切な記者投げ込み対応	・国交省 ・長野県 ・大鹿村

■訓練の実施概要：

- ◆ 日時：ロールプレイング訓練：平成23年7月24日（日）9:30～13:50
ヘリ調査訓練：平成23年7月24日（日）9:45～12:10

◆ 会場：大鹿村交流センター

◆ 参加機関：

- ① 国土交通省：中部地方整備局 河川部、天竜川上流河川事務所、三峰川総合開発工事事務所
- ② 長野県：長野県砂防課、飯田建設事務所、下伊那地方事務所
- ③ 大鹿村：大鹿村役場、大鹿村消防団
- ④ その他関係機関：飯田広域消防本部高森消防署
- ⑤ 支援団体等：信州大学 北澤秋司名誉教授、平松晋也教授（学識者）

◆ タイムスケジュール

表 ロールプレイング訓練タイムスケジュール

9:30	集合(司会:菊池砂防調査課長)
9:30～9:40	準備(各自:訓練機材の配置、資料内容の最終チェック)
9:40～9:45	挨拶(北澤実行委員長、蒲原天竜川上流河川事務所長)
9:45～9:55	事務連絡(訓練ルールの最終確認含む)
10:00～13:00	ロールプレイング方式防災訓練
13:00～13:10	休憩
13:10～13:25	訓練講評と講話(北澤名誉教授)
13:25～13:40	訓練講評と講話(平松教授)
13:40～13:50	挨拶(大鹿村長)

表 ヘリ調査訓練タイムスケジュール(予定)

9:30	交流センター集合(上記ロールプレイング訓練会場)
9:40～9:45	挨拶(北澤実行委員長、蒲原天竜川上流河川事務所長)
9:45～10:00	大西公園ヘリポートへ移動
10:00～10:30	ルート確認など、事前説明
10:30～12:00	ヘリ調査訓練
12:00～12:10	交流センターに移動(上記ロールプレイング訓練会場)
12:10～13:50	上記ロールプレイング訓練に合流

大規模土砂災害とは(定義)

地震・豪雨等による土砂災害であって、
 ・大規模な土石流、地すべり、及び天然ダム等
 ・天然ダムのような現象(進行性)
 ・同時多発的に発生する土砂災害
 ・火山噴火による火砕流・溶岩流・火山泥流等の大規模土砂流出やそれに伴い発生する大規模な天然ダム
 など、対応に高度な技術を要し、通常の土砂災害等に対する体制では限界があり、国の役割が重要なものをいいます。
 また、規模の大小に関わらず、社会的な影響が甚大であったり、被害が広範囲に及ぶおそれがあるものをいいます。



事例：H16 中越地震による天然ダム(旧山古志村)

■訓練方法(ロールプレイングとは)：

ロールプレイング方式とは「役割演技法」ともいい、コントローラー(進行側)が災害時のシナリオをプレイヤー(訓練を受ける側)に仕掛け、両者がそれぞれの役割を通じて、災害対応能力を高めていくことを狙いとした訓練方法です。

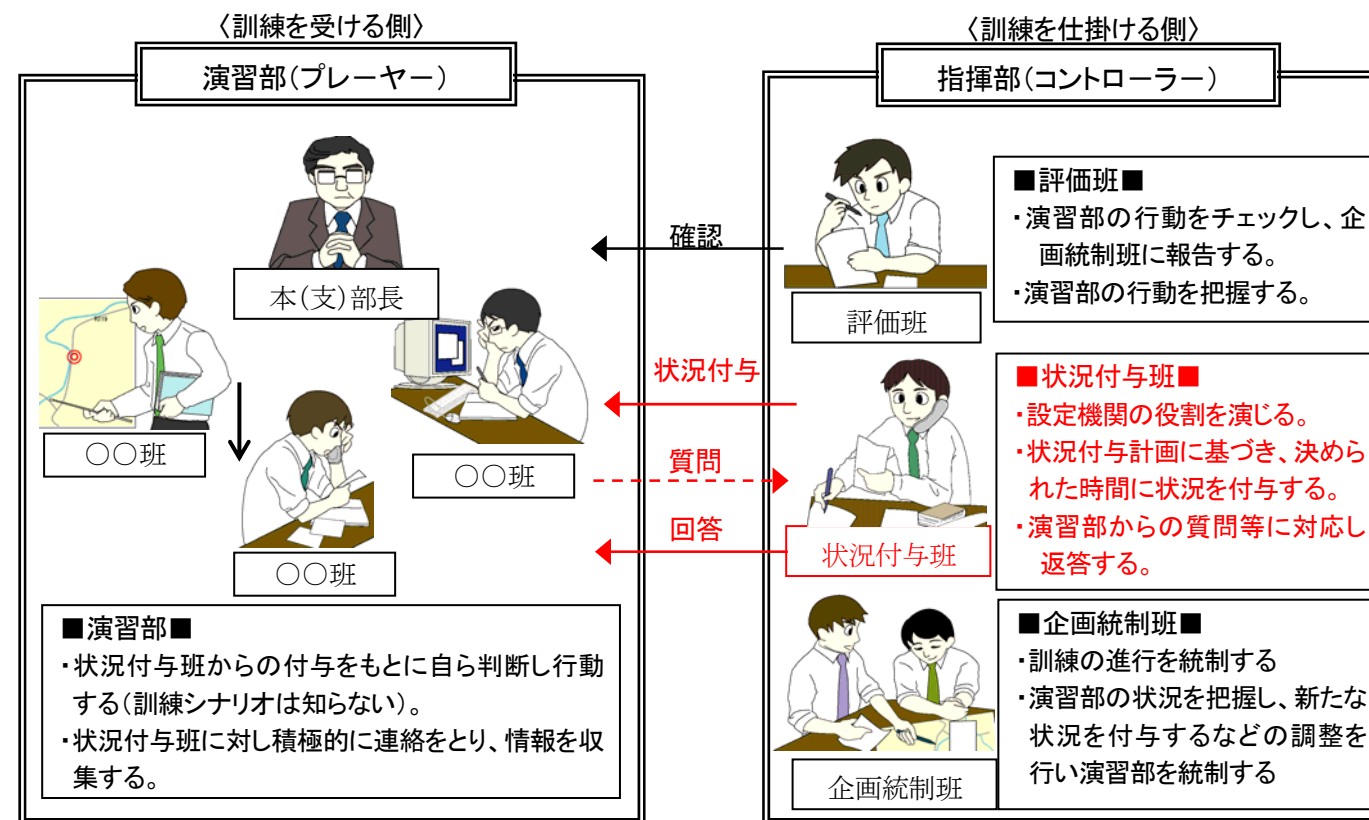


図 ロールプレイング方式訓練のイメージ

■地域連携マニュアルの取り組み：

- 国が支援を行いつつ、的確かつ円滑な災害対応の実施が必要
- 市町村、県、国による連携対応の具体的な手順や留意事項等をマニュアルにとりまとめている

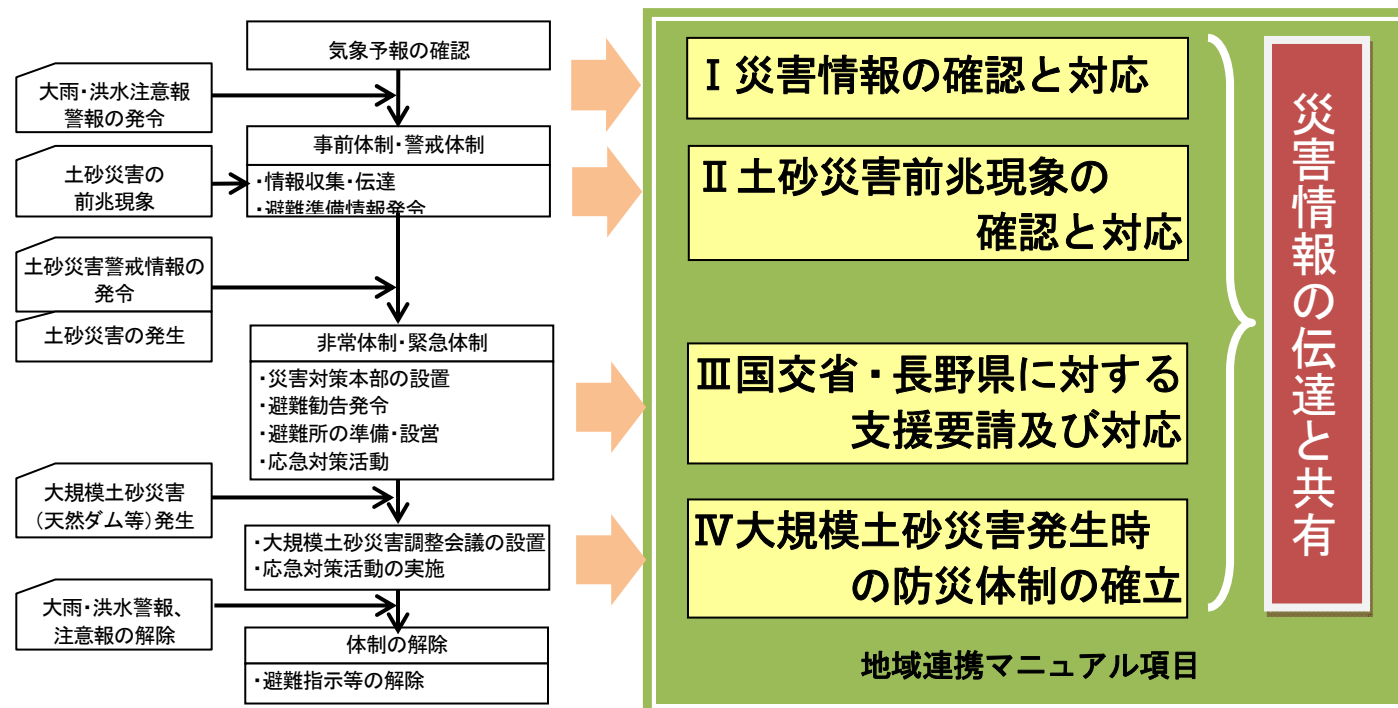


図 地域連携マニュアルのイメージ